

令和6年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告

事業方針

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、土門拳記念館及び酒田市美術館の管理及び運営を行い、それを通じ定款で定める目的達成のため、各事業を実施した。

土門拳記念館は写真家・土門拳の残した功績と現代における作品の意義・魅力を新しい切り口で伝えることを柱に、酒田市美術館は、地域を支える美術館として近代及び現代美術作品を中心とする収集・展示や、市民の創作活動の発表の場を提供した。また、両館協力し、相互の幅を広げた連携企画として、「画家たちのパレット展」において、土門拳の撮影した画家の写真も同時に展示した。

両館ともに、地域の文化活動の拠点としての役割、及び他地域から酒田市を訪れる契機となる施設としての役割を認識し、事業の質を担保しながら入館者増に努めてきた。

定款で定めた事業は、具体的には下記のとおり区分し実施した。

公益事業

土門拳記念館及び酒田市美術館での作品展示を中心に、市民の文化芸術等に関する活動等の支援及び育成、普及啓発、情報発信、交流及び協働の促進、資料収集、保存、調査研究等を実施する事業を行った。

I 土門拳記念館公益事業

- 1 土門拳作品展示事業
- 2 写真文化普及啓発事業
- 3 写真作品等保存管理事業
- 4 教育普及事業
- 5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- 6 調査研究事業
- 7 施設（土門拳記念館）管理運営事業

II 酒田市美術館公益事業

- 1 展示事業
- 2 美術品保存管理事業
- 3 教育普及事業
- 4 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- 5 調査研究事業
- 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働促進事業

Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

- 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業
- 2 「酒田市土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業
- 3 写真文化普及啓発事業

収益事業1 作品貸付事業

所蔵する作品を他美術館等の展覧会及び出版社やテレビ企画会社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝える事業を実施した。

収益事業2 資料頒布事業

展覧会に関連する書籍や写真集、物品及びオリジナルグッズ等の販売事業を実施した。

収益事業3 施設提供（貸館）事業

市民の創作活動の発表の場として、酒田市美術館市民ギャラリーを展示用備品と共に貸し出す事業を実施した。

会議等に関する事項

1 評議員会及び理事会について

令和6年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

(1) 評議員会

① 令和6年度 第1回定時評議員会

- ・ 日 時 令和6年6月23日（日）13:30～
- ・ 場 所 酒田市美術館市民ギャラリー
- ・ 案 件

《決議事項》

- 1 評議員の選任について
- 2 理事の選任について
- 3 監事の選任について
- 4 公益財団法人さかた文化財団令和5年度収入支出決算について

《報告事項》

- 1 令和6年度収入支出補正予算（第1号）について
- 2 公益財団法人さかた文化財団令和5年度事業報告について

② 令和6年度 第1回臨時評議員会

- ・ 日 時 令和7年3月23日(日) 13:30～
- ・ 場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・ 案 件

《報告事項》 ※令和7年3月8日開催 理事会決定事項

- 1 令和6年度収入支出補正予算(第2号)について
- 2 特定費用準備資金の設定について
- 3 令和7年度事業計画について
- 4 令和7年度収入支出予算について
- 5 土門拳写真美術館ロゴ公募結果について
- 6 7/25、9/20～22の大雨被害について
- 7 酒田市美術館大規模改修(予定)について

《その他》

- 1 令和6年度アンケート結果について
- 2 スクールプログラムについて(令和6年度実施状況及び令和7年度予定)

(2) 理事会

① 令和6年度第1回通常理事会

- ・ 日 時 令和6年6月8日(土) 13:30～
- ・ 場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・ 案 件

《決議事項》

- 1 令和6年度収入支出補正予算(第1号)について
- 2 公益財団法人さかた文化財団令和5年度事業報告について
- 3 公益財団法人さかた文化財団令和5年度収入支出決算について
- 4 令和6年度定時評議員会の開催について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について

② 令和6年度 第2回通常理事会

- ・ 日 時 令和7年3月8日(土) 13:30～
- ・ 場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・ 案 件

《決議事項》

- 1 令和6年度収入支出補正予算（第2号）について
- 2 特定費用準備資金の設定について
- 3 令和7年度事業計画について
- 4 令和7年度収入支出予算について
- 5 令和6年度第1回臨時評議員会の開催について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 諸規程の制定及び改正について
- 3 土門拳写真美術館ロゴ公募結果について
- 4 7/25、9/20～22の大雨被害について
- 5 酒田市美術館大規模改修（予定）について

《その他》

- 1 アンケート調査結果について
- 2 スクールプログラムについて

2 公益財団法人監査について

（1）定例監査

①土門拳記念館

- ・日 時 令和6年5月23日（木）14:30～
- ・場 所 酒田市土門拳記念館
- ・対 象 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

②酒田市美術館

- ・日 時 令和6年5月23日（木）13:30～
- ・場 所 酒田市美術館
- ・対 象 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

令和6年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告（詳細）

公益事業

I 土門拳記念館公益事業

《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市土門拳記念館の管理運営を行い、それを通じて芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 土門拳作品展示事業
- (2) 写真文化普及啓発事業
- (3) 写真作品等保存管理事業
- (4) 教育普及事業
- (5) 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 施設(土門拳記念館)管理運営事業

令和6年4月から令和7年3月まで1年間の総入館者数は21,962人で、対前年度比328人減である。

来館者が県外客中心である当館においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、ここ数年来館者数は低迷していたが、令和5年秋以降ようやく回復を実感することができた。

しかし、令和6年7月25日の本市における豪雨災害、9月の新潟県内における大雨によるJRの線路被害による運休を受け、夏休み及び秋の行楽シーズンでの来館者増はかなわなかった。

「土門拳の新しい作品はない。展示の切り口をどうしていくか。」という考えのもと、新たな視点での土門作品の展示、発信に努めた。

1 土門拳作品展示事業

酒田市所蔵品である土門拳作品をテーマ別に構成する企画展示と、土門と他作家の組合せなどによる特別展示を実施した。

(1) 特別展示

①展覧会名 「植田正治と土門拳 一巡りあう砂丘」

会期 4月5日(金)～7月15日(月・祝) 入館者数 8,881人

(2) 企画展示

① 展覧会名 「The Eyes ー土門拳が撮った眼ー」

会期 7月19日(金)～10月22日(火) 入館者数 7,258人

同時開催 「第30回酒田市土門拳文化賞受賞作品展 宮崎豊『新世界に咲く紅い花・コロナ禍を経て』」

会期 8月30日(金)～9月24日(火) 入館者数 1,973人(再掲)

同時開催 「KD MoP Shonai Photo Meetingーリミックス土門拳ー」

会期 9月27日(金)～10月22日(火) 入館者数 2,185人(再掲)

② 展覧会名 「土門拳のマチエール！」

「第43回土門拳賞受賞作品展 石川真生『石川真生 私に何ができるか』」

会期 10月26日(土)～令和7年1月19日(日) 入館者数 3,604人

③ 展覧会名 「土門拳を未来へ ー写真アーカイブの試みー」

「民俗を写す ーハレとケのあいだー」

会期 令和7年1月24日(金)～3月30日(日) 入館者数 2,219人

特別・企画展示入館者数 21,962人 (開館以来の入館者数 2,085,121人)
--

2 写真文化普及啓発事業

第30回酒田市土門拳文化賞の選考委員会を実施し、授賞式と併せて土門拳記念館で受賞作品展を開催したほか、東京、大阪でも受賞作品展を開催した。また、第31回酒田市土門拳文化賞の作品を公募した。

さらに、全酒田写真連盟主催の土門拳杯写真コンテスト入賞作品の展示を開催した。

期日 7月19日(金)～7月26日(金) 場所 土門拳記念室

3 写真作品等保存管理事業

(1) 原板を含む収蔵品整理保存事業

① 収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24時間記録し室温管理に努めた。

② 土門拳写真原板(フィルム、ポジ)劣化対策と保存について、以下のとおり実施した。

- ・ガス検知器による数値測定、原板状態の確認、収納

- ・フィルムの包材交換

- ・危険性が高い原板の経過観察(クリーンブース使用)

- ・(株)土門拳写真研究所から返却された原板(貸し出したものの回収)353点と新規送付16,938点について上記の劣化対策及び情報整理、並びに収蔵作業

- ・35mmネガフィルム(日本工房時代～初期のドキュメント作品)66,173 点のデジタルデータ制作

- ・プリント収納箱へ有毒ガス吸着シート挿入

(2) ソフトウェアを利用した、収蔵作品資料の整理

「早稲田システム」のデータ項目補完入力作業を進めた。

4 教育普及事業

(1) ギャラリートークなど展示作品の理解を深める事業の実施

①特別展関連トークイベント

圓井義典氏「植田正治と土門拳ー2人の求めたもの」

- ・期日 5月25日(土) 参加人数 40人 場所 企画展示室Ⅱ

②特別展関連トークイベント

ハービー・山口氏「私が植田正治さんと土門拳さんから学んだもの」

- ・期日 6月9日(日) 参加人数 70人 場所 主要展示室

③特別展関連イベント

映画「砂の女」上映会

- ・期日 4月26日(金) 参加人数 28人 場所 企画展示室Ⅱ

- ・期日 5月18日(土) 参加人数 28人 場所 企画展示室Ⅱ

- ・期日 6月21日(金) 参加人数 30人 場所 企画展示室Ⅱ

- ・期日 7月6日(土) 参加人数 37人 場所 企画展示室Ⅱ

④特別展関連イベント

「砂丘撮影会 2024 in 庄内砂丘」

- ・期日 5月11日(土) 参加人数 27人 場所 酒田市浜中

⑤企画展「The Eyes ー土門拳が撮った眼ー」関連トークイベント

藤森武氏ギャラリートーク弟子が語る「土門拳が撮った眼」

- ・期日 9月8日(日) 参加人数 22人 場所 主要展示室

⑥企画展「KDMoP Shonai Photo Meetingーリミックス土門拳ー」関連トークイベント

参加作家(五十嵐丈氏/千葉奈穂子氏/早坂葉氏/本間聡美氏/王憶冰氏)によるギャラリートーク

- ・期日 9月28日(土) 参加人数 25人 場所 企画展示室Ⅱ

⑦第43回土門拳賞受賞 石川真生氏トークイベント

受賞者の体調により来館がかなわず、取材映像を会期中放映

- ・期日 10月26日(土)～1月19日(日) 場所 企画展示室Ⅱ

⑧第 43 回土門拳賞受賞 関連トークイベント

受賞者石川真生氏の主演映画「オキナワより愛を込めて」上映に合わせた学芸員出張トーク

・期日 1 月 12 日(日) 場所 鶴岡まちなかキネマ

⑨学芸員ギャラリートーク

展 覧 会 名	期 日	講 師	参加人数	場 所
植田正治と土門拳 ー巡りあう砂丘ー	4/27(土)	当館学芸員	25 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
	6/22(土)	当館学芸員	24 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
The Eyes ー土門拳が撮った眼ー	8/17(土)	当館学芸員	6 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	9/14(土)	当館学芸員	15 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
「土門拳のマチエール！」 「石川真生 私に何が できるか」	11/2(土)	当館学芸員	9 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	12/14(土)	当館学芸員	20 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	R7. 1/11(土)	当館学芸員	14 人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
「土門拳を未来へ ー写真 アーカイブの試みー」 「民俗を写す ーハレと ケのあいだー」	2/15(土)	当館学芸員	9 人	企画展示室Ⅰ
	3/15(土)	当館学芸員	5 人	主要展示室

(2) 外国語資料(8 か国語)、建築資料、子供向け資料の配布

(3) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。

展 覧 会 名	期 日	参 加 校	参加人数
植田正治と土門拳 ー巡りあう砂丘ー	5/23(木)	浜中小学校	20 人
	7/10(水)	琢成小学校	19 人
The Eyes ー土門拳が撮った眼ー	9/12(木)	浜中小学校	26 人

「土門拳のマチエール！」 「石川真生 私に何がで きるか」	R7. 1/15(水) 1/16(木)	第六中学校 (1日2回計4回開催)	46人 52人
「土門拳を未来へー写 真アーカイブの試みー」 「民俗を写すーハレと ケのあいだー」	1/30(木) 1/31(金)	富士見小学校	29人 30人

(4) こども写真教室の実施

【こども写真教室】

・期日 4月29日(月・祝) 参加人数 15人 場所 土門拳記念館

【こども写真教室成果展】

・期日 5月1日(水)～5月6日(月・休) 場所 土門拳記念館エントランス

(5) 写真に対する興味を広げる親子ワークショップの実施

【ピンホールカメラ体験教室】

・期日 7月20日(土) 参加人数 親子41人 場所 酒田市総合文化センター

【ピンホールカメラ体験作品パネル展示】

・期日 7月29日(月)～8月12日(月・休) 場所 土門拳記念館エントランス

(6) 写真に対する興味を広げる展示の実施

【カメラ・オブスクラの設置】

・期日 7月19日(金)～10月22日(火) 場所 土門拳記念室

(7) 写真に対する興味を広げる大人向けワークショップの実施

【大人の写真教室「青写真ポートレート」】

・期日 10月12日(土) 参加人数 7人 場所 土門拳記念館

【大人の写真教室成果展】

・期日 10月16日(水)～10月31日(木) 場所 土門拳記念館エントランス

(8) 写真展「わたしのこの一枚」の実施

・展示期間 10月8日(火)～10月22日(火) 参加人数 96人 場所 土門拳記念室

(9) 館内映像コーナー及びSNSによる視聴覚教材の活用

(10) ミュージアムコンサート等、建物空間を生かす事業の実施

①期日 7月27日(土) ほんわか かな(ハーモニカ) 豪雨災害のため中止

場所 主要展示室(予定)

②期日 8月31日(土) 三船しのぶ(ハンマードルシマー) 参加人数 38人

場所 主要展示室

③期日 10月5日(土) さな ぷーら(リュート・リコーダー) 参加人数 35人

場所 主要展示室

- ④期日 令和7年2月22日(土) 朗読会「吉野弘の詩をよむ」 参加人数 33 人
場所 企画展示室Ⅱ

(11) 自主事業の実施

- ①期日 4月6日(土) バックヤードツアー・ピアノコンサート 参加人数 6 人
場所 主要展示室及びバックヤード
- ②期日 令和7年1月20日(月) 坐禅 in 土門拳記念館(坐禅体験と学芸員案内による「まるでナイトミュージアム」) 参加人数 26 人
場所 企画展示室Ⅱ及び主要展示室

(12) 飯森山公園との連携

飯森山公園のあじさい開花の時期に楽之会の協力を得て「あじさい呈茶」を実施した。

- ・期日 6月29日(土) 参加人数 120 人 場所 土門拳記念室
- ・期日 7月13日(土) 参加人数 70 人 場所 土門拳記念室

(13) 酒田市文化芸術関連事業への参画

ミライニ・アートプロジェクト「SAKATART」展示 場所 エントランス

5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業

- (1) 各媒体による展示情報等 PR 及び観光情報等を提供した。
- (2) 年間入館券購入者へポイントカードを配布し、誘客を図った。
- (3) 入館割引券付き酒田市広報持参者2人まで半額を実施した。
- (4) ミニギャラリーを実施した。
- 市民への土門拳記念館の周知のため、「マンガふるさとの偉人 鬼の眼土門拳」のパネル展示を実施した。
- ・期間 令和7年3月11日(火)～3月18日(火)
 - ・場所 酒田市役所 フリースペース東
- (5) お年玉プレゼントを実施した。
- ・各日先着10名にくじ引きで記念館関連グッズプレゼント、他ポスターをプレゼントした。
 - ・期間 令和7年1月4日(土)～5日(日)
- (6) ホテル宿泊者優待券を発行した。
- (7) 酒田商工会議所女性会による傘福を展示した。
- (8) 酒田港寄港クルーズ船関係者を受入れるため、英訳キャプション及びあいさつ文を掲示した。
- 4月/4回、691人、5月/2回、302人、10月/1回、152人、計6回 1,145人

6 調査研究事業

- (1) 当館で開催した展覧会に関する調査
- ① 「KDMoP Shonai Photo Meetingーリミックス土門拳ー」展に関する打ち合わせや研究会を、地元作家たちとともに館内で月1回程度行った。

- ②「第 43 回土門拳賞受賞作品展 石川真生 私に何ができるか」に関する調査や作家インタビュー収録を作家宅(沖縄県)で行った。また、同氏を担当した学芸員(沖縄県立美術館、東京オペラシティ アートギャラリーなど)への聴き取りなどを各地で行った。
- ③「民俗を写す ―ハレとケのあいだ―」展における内藤正敏氏作品に関する聞き取り調査
- ④「墨と黒 ―書とモノクローム写真―」展における土門拳筆中原良三宛の書簡に関する聞き取り調査

(2) 当館での翌年度開催する展覧会に関する調査

「戦後 80 年記念特別展 東松照明と土門拳 ―語りつぐ写真―」に関する調査を、東松照明オフィス(沖縄県)や日本カメラ財団(東京都)、写真弘社(東京都)などで行った。

(3) 土門拳作品全般に関する調査

土門拳の作品、書籍、遺品などに関する基礎的な調査や物品整理などを、土門拳写真研究所、国立国会図書館、日本カメラ財団、MEM、写真弘社(いずれも東京)などで行った。

(4) 各地の写真美術館・写真展覧会などに関する調査

- ① 沖縄県立美術館、佐喜眞美術館、旧海軍司令部壕(以上沖縄県)、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、国立新美術館、パナソニック汐留美術館、東京オペラシティ アートギャラリー(以上東京都)など、出張先近辺の美術館等を多数訪問し、展示企画を視察した。
- ② 大雨被害で収蔵庫などが水没した新庄ふるさと歴史センター(山形県)での文化財保全活動に参加し、被災した収蔵品のレスキュー作業に従事した。(8 月 19 日・9 月 1 日)
- ③ 日本写真学会主催令和 6 年度画像保存セミナー参加(東京都写真美術館・12 月 13 日)

(5) 調査協力

- ① 石原悦郎とツァイト・フォト・サロンアーカイブズ(I & ZFA)による調査を受け入れた。(6 月)
- ② ドイツハイデルベルク大学日本美術史専攻博士課程リーヤンリン氏の受け入れ

(6) 講演・執筆など

- ① 10 月 27 日「羽越本線 100 周年の写真コンテスト審査会」審査員(王学芸員)
- ② 11 月 26 日「羽越本線 100 周年の写真コンテスト審査会」受賞者の表彰式、「審査員特別賞」コメント(王学芸員)
- ③ 寄稿「琉球―沖縄をとり続ける写真家、その情熱と生きざま」(第 43 回土門拳賞受賞者・石川真生氏に関する論考)荘内日報 2024 年 12 月 29 日号掲載(田中学芸員)
- ④ 1 月 12 日「まちキネ×土門拳記念館連動企画 石川真生氏最新インタビュー特別出張上映&土門拳記念館学芸員によるトーク」に登壇した。(田中学芸員)
- ⑤ 2 月 2 日 鶴岡まちなかキネマにおける『「オキナワより愛を込めて」』オキナワ・フィラデルフィ

ア『砂入博史監督舞台挨拶付き特別上映』のアフタートークに参加した。(田中学芸員)

⑥ 館内の企画展に合わせ、学芸員ギャラリートークを行った。(田中学芸員 7 回・王学芸員 2 回)

(7)学芸員実習生受け入れ

1 名(立教大学 / 8～9 月)

7 施設(土門拳記念館)管理運営事業

条例、規則、仕様書等に基づき、土門拳記念館の適切な管理運営を行った。

Ⅱ 酒田市美術館公益事業

《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市美術館の管理運営を行い、それを通じて芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的とし、下記のとおり実施した。

- (1) 展示事業
- (2) 美術品保存管理事業
- (3) 教育普及事業
- (4) 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- (5) 調査研究事業
- (6) 施設(酒田市美術館)管理運営事業

市民の憩いの場として親しまれ、市民に愛される美術館として、令和 6 年度は県美展を含め 6 回の特別企画展の実施を中心に上記の各事業を行った。土門拳記念館との連携企画として開催した「画家たちのパレットと絵画展」をはじめ、特にファミリー層を意識した特別企画展「シルバニアファミリー企画展」は、入館者が 17,319 人、1 日 1 千人を超える日もあるなど大変な好評を博した。また、情報発信ツールとしての X (旧ツイッター) を活用し、リアルタイムな情報の発信に努めたほか、市内巡回バスへのラッピング、美術館周辺への幟旗の設置などによる PR を行い、企画展の魅力を伝えるなど来館者の増に努めた。

更に、令和 3 年度から取り組んできたスクールプログラム事業では、「黒井健 絵本原画展」、収蔵品展「アートで巡る四季のうつろい展」の各展覧会において、全 15 回 10 校、延べ 387 人の参加があった他、スクールプログラムを活用した事例発表会を行うなど、教育普及の拡充にも重点を置いた事業に取り組んできた。こうした取り組みの結果、令和 6 年度の総入館者数は、昨年度に比べ 14.7% 増の 56,122 人となった。

1 展示事業

展示事業は、収蔵作品による計画的な一般展示と、国内外の優れた美術作品の紹介、及び子どもにも喜ばれる展示を加味した特別展示の二本立てとして実施した。

(1) 特別展示

① 展覧会名 「ディズニー キャッツ&ドッグス展」

会期 3月16日(土)～5月12日(日) 入館者数 7,777人

春休みからゴールデンウィークを含む開催期間ということもあり、関東圏からの帰省客や観光客の来館者が多く見られた。特に隣県の秋田（由利本荘市、にかほ市）からの来館者が多かった。展覧会の性格上ご家族が多かったが、ディズニーファンのお一人様も多かった。初めて酒田市美術館に来たという方が多いのも特徴で、回答者の9割を超える方から好評価を得られた。展示数が300点と多い上、市民ギャラリーを使用出来ない中での展示であったが、レイアウトを工夫したり、ホールでのフラッシュ撮影などのフォトスポットが人気であった。

② 展覧会名 「中山みどり フェルトアート展」

会期 5月18日(土)～7月15日(月・祝) 入館者数 7,753人

梅雨時期を挟んだ期間の開催で、40代の子育て世代と60代の高齢者の年齢層からの回答が5割と半数を占め、会期後半では、福祉施設の団体客が癒しやリハビリを兼ねての来館が多かった。前回2016年(H28)の開催以来2度目となり、リピーターも結構見受けられた。展示については、ディズニー同様、市民ギャラリーを利用できない中で400点もの作品展示をレイアウトや素材に触れたり被り物で変身出来るコーナーを設置するなどの工夫を凝らし、お子様連れや若い方々の来館者に対し大変好評であった。寄贈作品については、市内の保育園を巡回展示をした。

③ 展覧会名 「シルバニアファミリー企画展 シルバニア村のおいしい時間」

会期 7月20日(土)～9月8日(日) 入館者数 17,319人

夏休み期間と帰省客、また全国的に知名度の高いシルバニアファミリーの企画展とショップを一部屋充実させたということが相まって、県内外から1万7千人を超える来館者があった。特に最終日には1千人を超える来館者があった。ドラマの影響もあってか、10代から30代からの回答が半数を超えたが、実際幼少期に遊んだという40代、50代の来館者も多かった。初めて当館に来館した方が多かったのもシルバニアファンの影響と思われる。今回の来館者はSNSにアップして下さる方も多く、口コミによる効果が顕著に現れた展覧会であった。

④ 展覧会名 「黒井健絵本原画展」

会期 9月14日(土)～11月3日(日・祝) 入館者数 4,713人

例年は温暖な期間であり、3連休が複数回ある月なのだが、近年の異常気象の影響により、何度か線状降水帯に見舞われ、館内への浸水被害などもあるなど、想定外の事象により、予定より来館者数が伸び悩んだ。黒井健氏の最後の個展会場という触れ書きもあり、黒井氏のファンの方が全国から初めて当館を訪れたという方も多かった。今回の展覧会については、企画開催してくれてありがとうとの感謝の感想が多かったのも特徴であった。展示としては子ども目線で見れるよう低めに設定。絵本を読めるコーナーの設置により滞在時間が長いのも特徴であった。

⑤ 展覧会名 「第79回県美展酒田巡回展・第66回こども県展」

会期 11月6日(水)～11月11日(月) 入館者 1,504名

今年で79回目を迎えた県内10か所を巡回する県内最大規模の公募展で、当館での開催が9か所目となる。当館での開催は、平成11年の第54回の開催から25回目となる。(R2はコロナのため未開催) 今年の酒田巡回展では、日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門で、入賞者1名、入選43名、無鑑査・委嘱10名の方々を含む140展を展示。同時開催の第66回こども県展では300点の作品を展示した。会期も6日間と短い上、天候にも恵まれず、入館者数は厳しいものとなった。アドバイザーの皆様が中心となって展示・撤収作業をしているのが特徴である。

⑥ 展覧会名 「画家たちのパレットと絵画展」

会期 11月30日(土)～2025年1月19日(日) 入館者数 2,020人

茨城県笠間市の笠間日動美術館が所蔵している国内外の著名な画家(ピカソ、マティス、ダリといった海外作家から安井曾太郎、梅原龍三郎、宮本三郎といった日本現代の巨匠)たちが愛用したパレットとあわせて絵画99点を紹介した展示会。さらには当館ゆかりの作家、森田茂、國領経郎、斎藤長三、渡辺おさむのパレットと絵画等も展示するほか、土門拳記念館より関連作家の写真を借用して同時に展示し、画家たちの遊びところに触れながらその筆遣いや、息遣いを作品とともに楽しんでいただいた。

(2) 一般展示

収蔵作品の中から、森田茂の「風景」「黒川能」、新田嘉一氏より借用した日本画作品、及び高橋剛作品などを展示した。

一般・特別展示観覧者数	43,758 人	(開館以来の観覧者数 1,365,174 人)
市民ギャラリー観覧者数	6,262 人	
喫茶利用者数	6,102 人	
総入館者数	56,122 人	

2 美術品保存管理事業

(1) 収蔵作品について、引き続きその状態調査を行い、美術品管理台帳の整備を進めながら、安全かつ適正な状態で保存するよう努めた。

(2) 収蔵庫・展示室の温湿度管理

収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24 時間記録し室温度管理に努めた。

(3) 収蔵品の撮影

新収蔵品を中心とした作品撮影を 10 点行った。

3 教育普及事業

(1) ワークショップの開催

期 日	内 容	講 師	参加人数	場 所
7/15 (月・祝)	愛犬・愛猫のレリーフをつくろう	中山みどり氏(フェルトアート作家)	8 人	市民ギャラリー
7/27(土)	ミニチュアでパーティー料理を作ろう	ゆりこ氏(日本ドールハウス協会北支部長、作家)	8 人	ミーティングルーム
8/3(土)	アクアビーズでシルバニア村の仲間たちを作ろう!	学芸員・学芸員実習生 2 名	44 人	エントランス
8/4(日)	わくわく撮影会「ショコラウサギの女の子フレアが美術館に遊びにくるよ!		112 人	エントランス
12/1 (日)	ケーキのツリーを作ろう	渡辺おさむ氏(現代芸術家)	39 人	市民ギャラリー

(2) ギャラリートークの開催

展 覧 会 名	期 日	講 師	参加人数	場 所
中山みどりフェルトアート展	5/18(土)	中山みどり氏	63 人	各展示室

黒井健 絵本原画展 一画業 50 年のあゆみー	10/20(日)	当館学芸員 阿部直子氏(手話通訳)	33 人	各展示室
画家たちのパレットと 絵画展	12/8(日)	当館学芸員	34 人	各展示室
酒田市美術館収蔵品展 「アートで巡る四季の うつろい」	2/23(日)	当館学芸員 阿部直子氏(手話通訳)	22 人	各展示室

(3) 講演会・ミュージアムコンサート・サイン会・その他

展 覧 会 名	期 日	内 容	講 師	参加 人数	場 所
ディズニーキャッツ & ドッグス展	応募期間 2/23(金・祝)～ 4/10(水) 結果発表 5月7日 (火)	愛犬・愛猫の肉球を用紙にスタンプしたものを募集する「ワンにゃん肉球コンテスト」の開催		40 件	エントランス
	4 月 20 日 (土)	Jazz で楽しむディズニーの世界	一有地トリオ with 春山早苗	127 人	市民ギャラリー
中山みどりフェルトアート展	5 月 18 日 (土)	サイン会	中山みどり	63 人	エントランス
	応募・展示期間 5/18(土)～ 7/15(月・祝)	愛犬・愛猫の自慢の写真を展示			エントランス
シルバニア村のおいしい時間展	8 月 19 日 (月)	来館者 1 万人達成記念品贈呈セレモニー			エントランス
	9 月 4 日 (水)	来館者 1 万 5 千人達成記念品贈呈セレモニー			エントランス
黒井健絵本原画展	9/14 (土)	サイン会	黒井健氏 (絵本画家)	66 人	エントランス
	9/15 (日)	講演会	黒井健氏・深山さくら氏(スペシャルゲスト、絵本・童話作家)	61 人	展示ホール

		絵本の読み聞かせ	深山さくら氏(絵本・童話作家)	40人	展示ホール
美術館開館 27 周年記念展示	10/3(木)～4(金)	展覧会チラシ・ポスターの展示・絵葉書配布		82人	エントランス
文化の日企画	11/3(日)	来館者へ美術館グッズの配布		326人	受付
庄内 風と土の美術館 2024 アーティスト・イン・レジデンス 講評会	12/15(日)	講評者	学芸員 武内治子	115人	市民ギャラリー
酒田市美術館収蔵品展「アートで巡る四季のうつろい」	2/9(日)	美術館 de めいぐるみお泊り会 お泊り会隊長任命式(致道博物館ドナちゃん)		6人	エントランス
	2/16(日)	美術館 de めいぐるみお泊り会 お迎え・鑑賞会		8人	各展示室

(4) 子ども美術展の開催

酒田飽海造形教育連盟と共催

令和7年1月29日(水)～2月9日(日) 入館者 1,173人

(5) 教職員視察ウィーク

酒田市内の教職員に向けて、美術館や展覧会に対する理解を深めていただくため、「教職員視察ウィーク」を実施した。本事業は、普段の授業での鑑賞学習や、校外学習での美術館利用の参考にさせていただき、学校と美術館の情報交換及び連携の推進を目的とし期間中は特別展・常設展ともに観覧料を無料としている。

展 覧 会 名	期 日	参加人数
黒井健 絵本原画展 一画業 50 年のあゆみー	9 月 14 日(土)～20 日(金)	11 人
酒田市美術館収蔵品展 アートで巡る四季のうつろい	令和 7 年 1 月 25 日(土)～2 月 1 日(土) 休館日 1 月 29 日(水)除く	4 人

(6) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館におけ

る鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。4年目を迎えた本年度は、年間387名の児童が参加した。学校によっては、予習、ふりかえりの授業を実施し、授業内容の充実を図っている。

展 覧 会 名	期 日	参 加 校	参加人数
シルバニア村のおいしい時間展	9/26(木)	一條小学校	15人
画業50年のあゆみ 黒井健 絵本原画展	10/3(木)	浜中小学校、南平田小学校	64人
	10/10(木)	松山小学校、松陵小学校	44人
	10/17(木)	鳥海小学校、黒森小学校	41人
	10/24(木)	琢成小学校	34人
	10/31(木)	黒森小学校、浜田小学校	34人
画家たちのパレットと絵画展	1/29(水)	浜田小学校、南平田小学校	70人
酒田市美術館収蔵品展 「アートで巡る四季のうつろい」	2/5(水)	鳥海小学校	28人
	2/19(水)	浜中小学校、十坂小学校	57人

(7) 子どもワークシートの活用

酒田市在住イラストレーターrikko氏にデザインを依頼し作成した「子ども向けワークシート」を活用し、スクールプログラム事業や来館者対象に配布し、美術館での過ごし方や、館内の紹介などに活用した。

(8) 連携事業

①市との連携事業

◆「いいいろいろ展」

- ・内 容 酒田市内の障がいのある方が制作した絵画、書道、造形物などを展示するアート展。打ち合わせや展示作業、各作品への評価などを行った。
- ・期 間 9月20日(金)～26日(木)
- ・会 場 出羽遊心館 料金／入場無料
- ・主 催 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
- ・共 催 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら、社会福祉法人酒田市社会福祉協議会
- ・協 力 中島友彦(アートディレクター)、酒田市美術館
- ・担 当 学芸主任 武内治子

②ミライニ（中央図書館）との連携事業

- ・「シルバニアファミリー企画展 シルバニア村のおいしい時間」の連携企画として、会期中ミライニにシルバニアファミリーの展示コーナーを設置した。

期間／7月20日（土）～9月8日（日）

- ・「黒井健 絵本原画展の連携企画として、会期中ミライニに黒井健氏の絵本展示コーナーを設置した。

期間／9月14日（土）～11月3日（日・祝）

- ・SAKATART 展示「ミライニからはじまる、アートな酒田」参加

期間／10月4日（金）～11月24日（日）

③致道博物館との連携事業

- ・「美術館 de めいぐるみお泊り会」では、致道博物館のめいぐるみ「ドナちゃん」をお泊り会初代隊長に任命し、任命式を行った。お泊り会の様子は当館 X と致道博物館 X にて投稿。参加者は後日致道博物館へ無料招待した。

期間／2月9日（日）～2月16日（日）

場所／酒田市美術館

（9）研修事業

- ①スクールプログラムの研修事業として、小・中学校の教員、教員 OB、庄内地区の学芸員を対象とした対話型鑑賞の研修を実施した。

- ・日 時 令和7年1月25日(土)10:00～
- ・対 象 酒田市内の小・中学校教員、教員 OB、学芸員
- ・参加者 18人
- ・内 容 事例発表

（10）博物館実習研修、高校生インターンシップ体験学習受入れ

①博物館実習

博物館活動の一環として、大学及び大学院等で学芸員課程を履修する学生の博物館実習の受入れを以下のとおり行った。

- ・期 間 令和6年7月29日(月)～8月6日(火)
※シルバニアファミリー企画展期間中
- ・受講者 2名(東北芸術工科大学生)

②高校生インターンシップ受入れ

就職希望の2年生を対象に職業観醸成を目的とした高校生のインターンシップ受け入れを以下のとおり行った。

- ・期 間 令和6年7月30日(火)～31日(水)

※シルバニアファミリー企画展期間中

- ・ 受講者 鶴岡東高校 2 年生 2 名
- ・ 期 間 令和 6 年 10 月 2 日(水)～3 日(木) ※黒井健 絵本原画展期間中
- ・ 受講者 羽黒高校 2 年生 3 名

4 酒田市美術館 P R 及び広域情報提供事業

- (1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等へ出来るだけ掲載・放送してもらうよう積極的に依頼活動をした。
- (2) チラシ、ポスターによる P R にあたっては、会員や企業、企画会社、学校関係、関係機関など、県内外に郵送にて配布した。
- (3) X(旧 Twitter)を活用し、リアルタイムの情報を発信するように努めた。また X で、フォロワー対象としたプレゼント企画を実施した。
 - ① シルバニアファミリー企画展 人形及び展覧会図録をプレゼント
 - ・ 対象：X フォロワー
 - ・ 条件：シルバニアファミリー展の感想等をコメントする

5 調査研究事業

収蔵作品、特別展の作品・作家その他に関する調査、研究

(1) 発行、執筆など

① 令和4・5年度酒田市美術館年報発行

※デジタルデータにより HP で公開

②学芸員研究紀要

『山岳写真家・白簀史朗の「山岳写真」について』学芸主任 武内 治子

(2)講演依頼など

①酒田南高等学校同窓会 講演会「美術館の舞台裏～学芸員の裏話～」

日 時:2024 年 5 月 4 日(土・祝)10:00～11:00

場 所:出羽遊心館

参加人数:13 名

講演者:学芸主任 武内治子

②庄内 風と土の美術館

・アーティスト・イン・レジデンス作品についての講評

日 時:12 月 15 日(日)13:00～14:00

講評者:土門拳記念館 館長 佐藤時啓、学芸主任 武内治子、

酒田市文化政策課 キム・ビンナ

③鶴岡タイムス対談

新春座談会「庄内で活躍する学芸員～その仕事と魅力～」(上・下)

2025 年 1 月 1 日号、1 月 15 日号掲載

対談者:学芸主任 武内 治子

6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

当館の維持管理業務

Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

毎月1回、合同学芸部門会議及び財団経営企画会議を開催し、各事業について情報共有、検討を行った。

1 共同連携企画展示事業

(1)共同連携企画展

①「画家たちのパレットと絵画展」

日本近現代の巨匠である安井曾太郎や梅原龍三郎、三岸節子が使用したパレットや絵画とともに、土門拳の撮影した本人の写真を同時に展示した。

・会 期 11 月 30 日(土)～令和 7 年 1 月 19 日(日)

・場 所 酒田市美術館

Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業

毎日新聞社主催第 43 回土門拳賞の受賞作品展の実施及び受賞者トーク(映像放映)を実施した。

第 43 回土門拳賞受賞者、受賞作品

・石川真生 『石川真生 私に何ができるか』

・収蔵作品 モノクロ・カラー 15 点

・展示期間 10 月 26 日(土)～1 月 19 日(日)

2 「土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業

(1) 酒田市土門拳文化賞選考及び受賞作品の展示・収蔵

① 第 30 回酒田市土門拳文化賞公募及び選考等

・応募者数/点数 108 人(36 都道府県)/117 点(3,137 枚)

・選考委員 江成常夫氏、大西みつぐ氏、藤森 武氏

・選考委員会 6 月 7 日(金) 場所 酒田市総合文化センター

・授賞式(市主催) 9 月 7 日(土) 場所 土門拳記念館

② 第 30 回酒田市土門拳文化賞受賞者、受賞作品

酒田市土門拳文化賞 宮崎 豊（大阪府大阪市）

「新世界に咲く紅い花・コロナ禍を経て」（カラー 30 枚組）

奨励賞 新海 裕幸（愛知県阿久比町）「輪廻～めぐる日々の記憶～」

（カラー 30 枚組）

岡田 治（和歌山県田辺市）「痕跡」（モノクロ 30 枚組）

松本アキラ（神奈川県横須賀市）「方寸の欠片」（モノクロ 30 枚組）

③ 第 30 回受賞作品の展示収蔵

・酒田市土門拳文化賞受賞作品 プリント 30 点 額装展示

・奨励賞 3 作品 一部額装及び アルバム展示

・展示期間 8 月 30 日(金)～9 月 24 日(火) 企画展示室Ⅱ、土門拳記念室

・巡回展 東京展 会期 11 月 12 日(火)～11 月 25 日(月) ニコンプラザ東京
大阪展 会期 12 月 5 日(木)～12 月 18 日(水) ニコンプラザ大阪

(2) 第 31 回酒田市土門拳文化賞作品募集開始

・令和 7 年度選考及び受賞作品展を予定

3 写真文化普及啓発事業

酒田市土門拳文化賞友の会(歴代受賞者の会)と連携し、文化賞に関連する普及啓発及び情報発信を行った。

・9 月 7 日(土) 第 13 回酒田市土門拳文化賞交流会

・11 月 11 日(月)東京交流会・12 月 18 日(水)大阪交流会実施

・会報 13 号発行及び会員活動の情報発信等の協力

収益事業 1 作品貸付事業

土門拳の作品を他美術館等の展覧会及び出版社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝えた。

1 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月貸付件数 51 件

2 館外での土門拳展(個展以外含む)

① 「富士フィルムグループ 創立 90 周年記念 企画展

写楽祭！[日本の写真集 1950～70 年代]」

・会期 令和 6 年 10 月 18 日(金)～11 月 7 日(木)

・場所 富士フィルムフォトサロン 東京

②「巨匠が撮った高峰秀子」写真展

・会期 11月9日(土)～12月8日(日) 場所 東京都写真美術館

収益事業 2 資料頒布事業

1 サービス提供事業

(1) 観光情報の提供

酒田市観光パンフ、他館のチラシ、その他

(2) 物品販売

《土門拳記念館》

① 土門拳写真集や関連書籍、絵はがき、グッズなどを館内外で販売した。

オリジナルカレンダーの制作、販売

2025年 土門拳写真の旅 「石造美術」 A2サイズ 1,000部

② 特別展や土門拳賞受賞作品展の関連写真集、書籍、グッズ等も館内で販売した。

③ 酒田市ふるさと納税の登録を継続した。

(3) オリジナルグッズの開発

《土門拳記念館》

令和5年度に制作した「土門拳 何んでも帖」を引き続き販売した。

ミュージアムグッズフェアにも出品した

・会期 10月1日(火)～12月25日(水)

・場所 メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド(東京都中央区銀座)

《酒田市美術館》

① 当館オリジナルグッズ(絵葉書、図録、マグカップ、クリアファイル、一筆箋)

② 図録、所蔵作品や作者関連の書籍、展示関連グッズ

③ 地元出版物で、本館で販売可能と思われるもの。

収益事業 3 施設提供(貸館)事業

市内外の美術愛好家(個人・団体)の発表の場、学習の場として、出来るだけ多く市民ギャラリーを開放するよう努めた。

「令和6年度年度市民ギャラリー入館者集計」参照